

未来を生きる力を育むために

～大きな耳と優しい目と小さな口～



日時：令和4年6月22日（水）10：00～12：00
場所：宮野地域交流センター
講師：宮成 真澄 氏（くすの木母親クラブ会長）
受講生：大人14人

子育て経験豊富な講師自身の体験談を交えながら、親と子のコミュニケーションの大切さ、子どもへの関わり方、親として育つ意味を学びました。

▼子育ての最終目標とは何でしょう？

- ①生活的自立：食事、洗濯、掃除、時間の管理など身の回りのことが自分で出来る
→小学生～中学生
- ②精神的自立：社会的対応能力、問題処理能力がある
→中学生～高校生（反抗期）
- ③経済的自立：自分で稼いで、収入の範囲内で生活出来る
→成人

・・・子どもへの対応は年齢によって異なる



重要!

人間力を育むことが大事！

▼子どもとの向き合い方の基本



大きな耳

子どもの言葉にしっかり耳を傾ける

優しい目

見守り

批判の目でなく同じ目線で目を合わせて

小さな口

口出しをしない



■見守り

…年齢ごとに見守り、少し離れてはみているが、愛情だけは持っています。

■小さな口で待つ(忍耐)

…口を出したいときもぐっとこらえて。指示をせず、自分でやるよう上手く誘導してみて。

■親としての覚悟をもって

…親として、どんな時も子を守る、親としての宿命を全うしてください。

■届いてますか、子どもからのメッセージ

…子どもの「認めて欲しい」という思いやSOSを見逃さないで！

子どものこんなセリフ「クソババア、死ぬ」は、「さみしいよ、こっちを見て」かもしれません。

▼子育てクイズ！

() にあてはまる言葉はなんでしょう？

★『子育て四訓』（子育ての目安）

- ・赤子は()を離すな →肌
- ・幼児は()を離すな →手
- ・少年は()を離すな →目
- ・青年は()を離すな →心

⇒ **心** だけは全てにあてはまる

▼体験の大切さ

…子どもには様々な**体験**をさせてください。体験は子どもの能力を引き延ばしてくれます。五体を使って外遊びをすることで五感が育ちます。

■生活体験(生活の中のあらゆること)

■交流体験(いろいろな場所、状況での人との交流)

■その他自然の中での遊び体験⇒五感を育てる

〈おはぎづくりとお墓参り〉

…「わが家の恒例行事として、年に2回のお彼岸には家族皆でおはぎを作り、お墓参りにもって行きます。家族で行う手作りの楽しさとともに、ご先祖を敬うことは、命のルーツを確認し、自己肯定感を育むことにもつながるのではないのでしょうか。」



▼愛情と信頼が人のこころの基礎

…これがないと自分を律することのできない、規則を守れない子どもに育ってしまいます。たとえ子どもが大人になっていても愛情不足であったと気づいたとき、子どもを抱きしめても遅くはありません。それに気づいた時がスタート。ハグ（抱きしめること）は最高の特効薬です。

▼手本をみせる

…親のたたずまいを見直しましょう。人としての品格を持っていると、心が整う・体の動きを整えることができる。自分自身も自然と品格が出てくるものです。親自身の、人としての在り方を見直してみましょう。

『什の掟（じゅうのおきて）』（一つの倫理観として参考にしてみてください）

…人の生き方の指針として会津藩の侍の弟子に教育されていたもの

1. 年長者の言うことに背いてはなりません
2. 年長者にはお辞儀をしなければなりません
3. 戯言を言うことはなりません
4. 卑劣な振舞をしてはなりません
5. 弱い者をいじめてはなりません
6. 戸外で物を食べてはなりません
7. 戸外で婦人と言葉を交えてはなりません

ならぬことはならぬものです



『してみせて、言って聞かせてさせてみて、褒めてやらねば人は育たず』～山本五十六の言葉より～

▼ご自身のご経験からのお話

■ママ友も大事だけれど、年長者、経験者に話を聞くこともとっても大切。

■人は労力に対してお返しがあると、やる気ができます。報酬は大事。

■ちょっと心配な、あまりにも便利になりすぎている現代の子育て。

見直してみよう3つの \square

①不足 ②不自由 ③不満足

➡人権・自由が先走りすぎて、上っ面ばかりの人間、社会になりつつあるのでは…

■不登校 うちの子の場合

…学校が苦手な子に寄り添い見守っていました。子ども自身は学校へ行きたいと言っていました。しかし精神的に落ちついていない状態で登校しても、学力は身につかないものだと思います。無理に登校させず、家庭での学習を行いました。親が全てやらなくても、頼れるところを探すといいです。



宮成先生よりメッセージ

もし子育てに失敗したと思っても、反省はしても後悔はしないように。
いつからでもやりなおせます。どんな時も前を向いて歩きましょう！



■講座の様子から

約2時間の講座の間、実体験をもとにお話をされ、皆さん熱心にメモを取りながら聞いていらっしゃいました。アンケートにも多くの感想が寄せられました。



アンケートより ご意見・ご感想を一部ご紹介

- ★たくさん学ぶことが多くありがたかったです。心に残ったことは、「自己責任」「後悔はしなくていいが反省はする」「経験者の人に悩みをうちあける」「親の覚悟」「自由について」です。多くの学びと気づきをありがとうございました。
- ★7人のお子さんを育てられ今までたくさんの子育てに関わり母親と子どもをみてきた先生からのお話を聞いて、いかに子どもをコントロールしようとし過ぎない事が大切か実感しました。現代は、多様性に注文され過ぎて、自由・権利を主張するワードが多く目につきますが、まずは自分で義務・責任を果たせるような子どもに育てることを大切にしたいと思います。また、親も別のコミュニティを持ち幸せに生きて、いくつになっても成長する姿を子どもに見せられる親でありたいと思いました。ありがとうございました。
- ★「大きな耳と優しい目と小さな口」というタイトルにハッとさせられて受講を申し込みました。全部できていなかった…と反省です。子どもの反抗・不登校に困っていたところだったの

で、大変参考になりました。前向きになれました。ありがとうございました。

- ★おはぎのお話、とても素敵なことだなあと思いました。私も結婚したての頃は、主人が好きだと聞いて、最近の仕事の忙しさにかまけて作っていませんでした。子どもたちも丸めたり出来るような年になってきたので、今年の秋分の日には、作ってみたいです。
- ★「クソババア、死ね」は、「さびしいよ、こっち見て」のメッセージ。ドキッとしました。今子どもが思春期で難しい時なのですが、しっかりと口にチャックしながら、信じてやろうと思いました。とても心に響くお話がたくさんで、生きる力を自分ももらえました。
- ★「小さな口」になろうと戦っているところです。「口を出さないというのは苦しいヨ」という言葉に、他のお母さん達も苦しいのだなと、救われました。毎日の傷つけるような言葉のやり取りを止めたいので、私も親として、成長しないといけないと思いました。
- ★先生が一つの軸を持って子育てされ、またご自身も楽しんでおられる姿を見てとても憧れました。小さな口になれるように、覚悟を持って子どもと向き合いたいと思いました。ありがとうございました。
- ★とてもかわいい先生で、何より明るく楽しく活動されているお話を聞いて、こちらまであたたかい気持ちになりました。心配症な私はとにかく口を出し過ぎ、子どもの自立心を育ててあげられないと思い、この講座を受講しました。口を出すことを我慢することは誰でも苦しいこと、みな一緒だと励まされました。先生のように明るくしなやかに生きたいと感じました。

